

2010-11 年度テーマ



国際ロータリー会長：レイ・クリンギンスミス

第 2570 地区ガバナー：西川 武重郎

会長：鯨井 邦男

会長エクト：加藤 睦夫

副会長：村山 廣道

幹事：堀越 真

副幹事：庄内 邦雄

SAA：加藤 睦夫

TEL：048-525-7907 FAX：048-526-2471

URL：http:// www.kuma-west-rc.com/ E-mail：post@kuma-west-rc.com

No.17

第 1616 回 例会

(H22.11.29)

司会 森村 等 SAA
点鐘 鯨井会長
ソング 手に手つないで

来賓

加藤 玄静 様
(2009~10 年度パストガバナー 本庄 RC)

会長挨拶

鯨井会長



本日は、パストガバナー加藤玄静様をお迎えしての例会です。お忙しい中お越しいただきありがとうございます。卓話よろしくお願ひいたします。

10 月の会員増強セミナーにおいて、加藤様の基調講演にて例

会の充実は会長の時間の使い方と言われましたが、なかなかうまく使えず、もっと勉強しなければならぬと感じております。ご指導よろしくお願ひいたします。

加藤年度のテーマは「今を大事に」でした。これは、現在のさまざまな状況を考えますと、生活の基本として考える一生のテーマだと思ひます。時間だけでなく物も含め、すべてにおいて「大事に」を目標に行動したいと思ひます。

今月はロータリー財団月間です。皆さんは、ロータリーカードお持ちですか？私は、数年前に取得し、たまにですが使用しています。8 月のセミナーにて、カードのポイントで寄付が可能と知りました。がんばってみようと思ひます。

幹事報告

堀越幹事

1. 「第 4 回全国 R Y L A 研究会」開催について

日時

2011 年 1 月 29 日 (土)

10:00~17:00

会場

グランドプリンス新高輪



2. 雀幸園クリスマスパーティーのご案内

12 月 24 日 (金) 午後 3 時~7 時 30 分

委員会報告

出席報告

加藤 睦夫委員

例会日	総数	出席免除	欠席者	出席率	メークアップ
11/29	21	6 (2)	5	76.47%	2

ニコニコBOX委員会

ニコニコボックス拠金報告

加藤 睦夫委員

例会日		件数	金額
11/29	本日の報告	10 件	10,000 円
	本年度累計	126 件	179,000 円

加藤 玄静さん

ガバナー当時は大変ご支援を頂きありがとうございました。本日はお世話になります。

鯨井 邦男さん

パストガバナー加藤様、本日は卓話ありがとうございます。よろしくお願ひいたします。

堀越 真さん

//

古屋 一生さん



いつもお世話になります。加藤パストガバナー本日は卓話よろしく願いいたします。ご多忙中のところありがとうございます。

野中 治己さん
加藤パストガバナーようこそお出でくださいました。本日はよろしく願いいたします。

田代 充雄さん
加藤パストガバナー本日は卓話の講師ありがとうございます。

加藤 睦夫さん //

加藤 恭保さん //

吉田 正己さん //

森村 等さん
パストガバナー加藤様、本日はようこそお越し下さいました。ご指導の程、よろしく願いいたします。

堀越 真さん
所用で早退いたします。申し訳ございません。



卓話

講師

パストガバナー 2009～10年度
加藤 玄静 様 (本庄RC)



プロフィール

1985年 本庄ロータリークラブ入会
2001年 地区新世代委員長
2004年 本庄ロータリークラブ会長
2005年 第4グループガバナー補佐
2007年 ガバナーノミニ
2008年 ガバナーエレクト
2009年 ガバナー
2010年 社団法人ロータリーの友理事

地区クラブ奉仕部門委員長
ロータリー米山記念奨学会評議員
ロータリー米山記念奨学会評議員
ロータリーの友編集委員会顧問

「社会経歴」

- ・本庄市社会福祉協議会常務理事
- ・埼玉県共同募金会貸付審委員
- ・本庄市自治会連合会会長
- ・日本赤十字社埼玉県支部評議員
- ・埼玉県公安委員会本庄警察署警察協議会委員

「宗教界経歴」

- ・日蓮教団総長 (現)
- ・財団法人埼玉県仏教会常務理事 (現)
- ・埼玉県宗教連盟事務局長
- ・本庄市仏教会会長

「今を大事に」… 生き残るロータリーに必要なものは

1. 今、なぜ「研修」が必要なのか

- ・ガバナー公式訪問時に、新入会者への動機付けを一時間行う
- ・年二回入会三年未満の研修会を RLI 方式で開催
- ・RLI 方式導入の検討と研修

2. 1 業種 1 名から 5 名への規制緩和は、大クラブへ集中しないか

- ・過去のクラブ拡大はどうなるのか
- ・入会者が入会クラブを選ぶ時代になっていないか
- ・人口の 1000 分の 1 の増強目標は

3. クラブは、事務局主導型からの脱皮は出来ないか

- ・安易な踏襲は出来るが、改革は難しいのではないか
- ・少人数クラブでは、事務局関係費で大変である
- ・地区事務局の固定化の検討

4. 地区大会、I・M 開催の方法の見直し

- ・クラブの現況を考え、登録料なしはどうか
- ・地区大会のあり方を根本的に改革したらどうか
- ・I・M の内容はクラブでの奉仕事業発表を中心にすべき

5. 例会のあり方、今後は隔週か

- ・ロータリーはクラブが中心、ならば例会プログラムを重要視
- ・面白くて為にならなければ、欠席会員が増え、結果退会へ
- ・会員は例会へ出なくて、批判をしてはいけない

1. あなたがロータリアンになったら、どのようなことをするのでしょうか。

毎週行われるクラブの例会に出席して、同じクラブの会員と情報交換します。仕事や旅行で訪れる世界中のロータリークラブの例会に出席することも出来ます。

地域社会のニーズに合わせたさまざまな活動を行います。世界中の人々のために支援をします。

例会やさまざまな活動を通して、多くの人達と知り合いになれます。

1. あなたがロータリアンになったら、どのような人と会うことができるのでしょうか。

ロータリアンには、さまざまな職業の人達、そして、幅広い年齢の人達がいます。地元の企業の経営者や専門職の人ばかりでなく、日本中、そして、世界中の人達と知り合うことが出来、人的な

ネットワークをつくることが出来ます。



又、違う世代の人達と親しくなることもできます。

1. クラブ奉仕

ロータリーの第 1 奉仕部門。ロータリーアンが、クラブを円滑に機能させるために行う次のような行為をいう。

すなわち、クラブ会合に出席すること、クラブの親睦に加わること、クラブのプログラムに参加すること、委員になること、理事を務めること、会費を払うこと、クラブ外の活動に於いてクラブを代表すること… 例えば、他の RC で講演したり、都市連合会 (IM)、地区協議会、地区大会、リーダーシップ・フォーラムに出席したり、新クラブの設立に当たって自分のクラブを代表したりすること。

「例会出席はロータリーの基本」

クラブの例会に出席することは、ロータリーアンとして、大切なことです。例会に出席することによって、異なる業種の人達、さまざまな年代の人達と親しくなれます。

又、それらの人々から、普段あまり聞くことのない情報を得ることが出来ます。

「例会はいつ開かれるのですか」

例会は、基本的には週一回、決まった曜日に開催されます。その曜日と時間はクラブによって異なります。日本の場合は 12 時 30 分から 1 時間程度、昼食をとりながらの例会が多いのですが、朝や夕方に例会を開催するクラブもあります。

「例会では何をするのですか」

ほとんどのクラブでは、共に食事をします。食事中は、同じテーブルのロータリーアン達と歓談できます。最近話題になっていること、家族のこと、仕事のこと、その話題はさまざまです。

又、会員に向けてのクラブや地区、国際ロータリーからの情報が提供されます。

卓話と呼ばれる 30 分程度のスピーチを聴きます。クラブの会員が自分の職業や趣味、ロータリーについて話したり、ゲストを迎えて、そのときに話題になっている話を聞いたりします。

話の分野は経済、社会、情勢、技術、健康、歴史、音楽、絵画をはじめ多岐にわたります。

「例会を欠席してもいいのですか」

例会の出席は会員の義務として奨励されています。ロータリーアンになると、できるだけ自分のクラブの例会に出席するよう努力を求められます。

しかし、ご心配には及びません。仕事やその他の都合で自分のクラブの例会に出席できないときには、自クラブの例会が開催された前後 2 週間以内に、他のクラブの例会や規定に定められているロータリーの会合に出席することで補うことができます。

これをメイクアップと呼んでいます。食事代程度のビジターフィーと呼ばれる費用が必要ですが、その金額はクラブによって違います。

クラブによって例会の雰囲気も違いますし、いろいろなロータリーアンと出会うことも出来ます。

「こんなこともあります」

- ・ニコニコボックス



ちょっとした楽しい出来事があったとき、メッセージを書いて「ニコニコボックス」(にこにこ箱、スマイルボックス等)に少額の献金をします。

メッセージは、例会中に披露され、みんなで喜びを分かち合います。集まったお金は、クラブの奉仕活動に使われます。

・ 炉辺会合・情報集会

ロータリーについてより深く知ったり、意見交換をするための会合を開いています。炉辺会合、情報集会、家庭集会他、クラブによって名称は異なり、議論の内容、進め方なども違ってきます。

しかし、いずれのクラブでも、和気あいあいの雰囲気の中でロータリーについての理解を探めることが出来るよう、工夫されています。

ほとんどのクラブで入会3年未満の会員の出席を義務づけていますから、これらの会合のスケジュールも予定に入れておいて下さい。

・ 新会員研修

新会員がクラブの活動や歴史、ロータリーの活動や規則など、ロータリーのさまざまなことについて学ぶ機会があります。ロータリーを知って、一日も早くロータリーになじむために大切な時間ですから、積極的に参加して下さい。

最近では、会員研修等が少なく、ロータリーを知る前に退会する会員が増えています。研修や情報集会をするために、本年度から各クラブに研修リーダーを設置するよう奨励されています。

